

4月18日〈日〉 16:00 上映開始

所沢ミューズ シネマ・セレクション

世界が注目する日本映画たち

Part
19

令和2年度（第71回）芸術選奨受賞

第70回ベルリン国際映画祭 国際審査員特別賞！

『風の電話』

岩手県大槌町に実在する電話ボックスは天国に繋がる電話として人々に広まり、会えなくなった人と「もう一度言葉を交わしたい」という願いを抱えた4万を超える人々が震災以降この場所を訪れている。

大槌町で東日本大震災に遭ったハル（モトウラ世里奈）は家族を失い、広島にいる叔母の家に避難をしている。震災から8年が経過しているがハルの喪失感が消えることはなく、気持ちは大槌町に向いていた。故郷を目指し、旅をはじめ北上していく過程で出会う大人たち（森尾：西島秀俊、今田：西田敏行、公平：三浦友和）に「生きろ」と励まされるハル。旅を続ける中で導かれるように、“風の電話”へと歩みを進める。ラストの“風の電話”前での、ハルの独白は圧巻。

上演後にはメガホンをとった、諏訪敦彦監督が来場予定。震災から月日は流れ10年が経過。社会は新型コロナウイルスで混乱し、震災後に近いような状態となっているが、監督の眼にはどのように映っているのか。



諏訪敦彦 監督
上映日に来場予定！



(C)2020 映画『風の電話』製作委員会

☆☆☆ その他、作品の見どころもミューズホームページで紹介中 ☆☆☆

「ミューズ シネマ・セレクション」公式アカウント 最新情報随時更新中

twitter @muse_cinema facebook musecinema



公式HP